

## 『枕草子とサッカーオリンピック代表とホテル』の関係

みなさん、こんにちは！夏の連休工事お疲れ様でした！！熱中症ぎりぎりの環境もかなりありましたが、なんとか無事完了できてほっと一息ついてます。安全作業にご協力ありがとうございました。感謝です！

しかし工事業にとって、『今日も1日何もなかった～！』と思える瞬間が1番幸せですね。

♪今日の技をなし終えて～心軽く安らえば～♪風は涼しこの夕べ～♪

思わずドルザークの『遠き山に日は落ちて』の世界に浸ってしまいませんか？

あるいは清少納言の枕草子のような世界。人間、心配事から解放されると目の前の事象を深く味わうことができ、これこそが究極の幸せではないかと思っています。

春はあけぼの やうやう白くなり行く 山ぎは少しあかりて 紫だちたる雲の細くたなびきたる

夏は夜 月のころはさらなり やみもなほ ほたるの多く飛びちがひたる

またただひとつふたつほど ほのかにうち光りて行くもをかし 雨など降るもをかし

(現代語訳)

春は曙がいい。次第に白んでいくと、山際の空が少し明るくなって、紫がかつた雲が細くたなびているのがいい。

夏は夜。月が出ているときは言うまでもない。闇夜であっても、ほたるが多く飛び交っているのはいい。またほんの一、二匹などが、ほのかに少し光って飛んでいくのも趣がある。



千年も前の日本人がこんなにゆったりと深く世界を味わっていたと思うと感動ですね。

岡崎も車で30分も行くと蛍が見れる 素敵なお場所があるのに、

そんなことはすっかり忘れてドタバタと夏を過ごしてしまった自分が恥ずかしいです。

しかしながら今年の夏はTVでしっかり蛍を応援してました！サッカーオリンピック代表の山口螢選手、

いいディフェンスしてましたね～！！そして清武、永井の電光石火の速攻、凄かったですね！

スペインの無敵艦隊も沈めてしまいました。

できればなんとか韓国も撃破して銅メダルを獲得してほしかったですが、メダルを本気で取りに行くなら、キーパーは権田ではなく川島、左サイドバックは徳永ではなく長友、怪我をさせてマンチェスターユナイテッドにド叱られたとしても香川の招集が必要だったと思います。

日本は『選手の育成と短期間で仲良くやれるチームワーク』に重きを置いていましたが韓国は『愛国心、ナショナリズムの高揚』に重きを置いてたのでその時点で勝負あった！ではないかと思っています。日本に負けたら自我が崩れ去るくらいの恐怖心と自尊心で戦っていますからエネルギーが湧いてくる場所が違いますね。平和に浸っている日本人が同じくらいのエネルギーを出そうと思うと本当に苦勞すると思います。日本人の国際競争力低下の問題は技術の問題よりこの人的エネルギーの源泉をどこから引き出すかの問題のほうが大きいと思います。平和ボケと言ってしまうばそれまでですが、失ってみて初めて分かる何物にも代えがたい宝、多くの先人の犠牲の上に築かれた『平和』だということだけは忘れてはいけません。



『ホテル帰る』というお話をご存知でしょうか？戦時中に特攻隊員が集まる食堂があり、

そこで若い隊員の母親代わりをしていた女主人に、明日戦地に赴く隊員が

『小母ちゃんのところへ明日の9時に蛍になって帰ってくるから必ず扉を開けてまってて』

といて旅立っていったところ、本当に翌日の9時に蛍がその食堂に飛んではいってきて、

他の隊員とともに泣きながら同期の桜を歌って迎えたという実話です。

多くの特攻隊員の遺書には只々、残された家族や日本人の幸せを一心に願う文章が多く、今我々が読み返すことで日々の何気ない出来事がどれほど有難いことか痛感させられます。

円高、震災、エネルギー代替え問題、国力が衰えてくると他国が領土問題を刺激してくるというリスクもリスクアセスメントに洩れなく盛り込みながら、祖先から命がけでいただいた『平和』という宝を日本人持ち前の『勤勉さ』『粘り強さ』『柔軟さ』『お互いを思いやる心』で守っていかなくてははいけません。自国の不満を外部に向けさせるための愛国心ではなく、枕草子のような豊かな世界を内部に育むための愛国心こそが日本人の求める愛国心ではないかと思っています。



感謝！羽原篤史

